



第23回
山脇 裕之 副市長

“市民が主役のまちづくり”を
全力でアシストしたい

令和6年4月1日付で静岡県から伊豆の国市へ着任した山脇裕之副市長。静岡市の蒲原地区で生まれ育った山脇副市長は、地元の高校・大学を卒業し、平成7年に静岡県庁へ入庁しました。県庁では、人事管理や経理などを担当したほか、旧芝川町へ出向した経験もあります。

伊豆の国市で生活するのは初めての山脇副市長ですが、過去に何度か観光で訪れたことがあるそうです。「その時は、サイクリングをしなが

ら葦山反射炉や江川邸に行きました。『自然や歴史が豊かでないままだ』と感じました。実際に住んでみて、非常に暮らしやすいまちだと実感しました」と、早くも新天地に親しみを持っている様子。今回、自転車は静岡市の自宅に置いてきました。「まち歩きが好きなので、北条家ゆかりの場所など歴史巡りが楽しみです」と、休日のウォーキングを計画中です。

家族と離れ、伊豆の国市で一人暮らしをする山脇副市長は、「市民の皆さんと同じ目線で暮らし、皆さんが『どうしたいか?』を肌で感じる事が、副市長としての第一歩だと思っています。その上で、市長の政策実現をアシストすることが副市長の仕事。市役所は市民との距離が近いので、現場の声を大切にしていきたいです」と、抱負を語ります。

「今はまだ、伊豆の国市について知らないことも多いですが、第二の故郷になるのでは」と笑顔を浮かべる山脇副市長。山脇副市長のアシストで、山下市長の取り組む『市民が主役のまちづくり』が、さらに強固なものとなりそうです。

国際交流員

アンのあのお



第8回
手作りマーケット

サインバイノー!アノンです。伊豆の国市がモンゴル国と友好交流を始め9年たちますが、まだまだ皆さんに知られていません。モンゴルを知ってもらおう機会として、市内のイベントなどでモンゴル文化の紹介をしています。3月の手作りマーケットでは、葦山反射炉のそばにある反射炉自然公園でモンゴルの移動式住居ゲルを建て、モンゴル文化の紹介、民族衣装「デール」の試着、モンゴルの手作り商品と岩塩の販売、オニ(ゲルの天井の梁)塗り体験などを行いました。また、伊豆の国市、ま広場さんの引き馬体験もあり、市内でモンゴルの大草原を感じられるイベントになりました。

私は祖父母に育てられ、遊牧民の生活も体験できる環境にいますが、日本人たちに紹介するためにはたくさん研究したり、調べた

りしている間、今までより高い愛国心を持つようになりました。そして、伊豆の国市に来てから日本の文化と母国の文化を比べながら勉強することができて、この仕事が大好きになりました。

今年の夏は市内の中学生のモンゴル訪問以外に、市民ツアーも計画しました。旅行会社の協力を得たモンゴルツアーですが、市民向けに私が一緒に考え、なるべく手ごろに、本格的なモンゴル体験をできるような内容になったと感じています。(12ページ参照)

皆さん、私と一緒にモンゴルへ行きませんか?ご応募お待ちしております。



☎ 055(948)1412

あなたも狙われるカモ!悪質商法に「ご用心」

春からの新生活!
怪しい「儲け話」に気を付けて

(文と絵) 司法書士 山田茂樹

新年度となり、新たな生活を始めた人や自分のスマートフォンの利用を始めた人もいるでしょう。この時期は、新たな出会いがあり、SNS上でのつながりが増えやすい時期です。そこで、このタイミングを見計らって、動画配信サービスの広告、SNSのダイレクトメッセージ機能などを使って言葉巧みに近づき、「儲け話」を持ち掛けられるケースがあります。しかし、この「儲け話」は、新たに人を誘うことで利益が得られるマルチ商法である場合が少なくありません。ご注意ください。



©Shigeki Yamada

【消費生活相談】 伊豆の国市役所大仁庁舎
相談日：毎週月～金曜日、9時～16時
(年末年始・祝日は除く)
※相談員による相談は月～金曜日10時～13時
☎ 伊豆の国市消費生活センター ☎ 0558-76-8000

伊豆市役所(伊豆市小立野)
相談日：毎週月～金曜日、8時30分～17時15分
(12時～13時、年末年始・祝日は除く)
☎ 伊豆市消費生活センター ☎ 0558-72-9858

ごみの分け方 出し方

VOLUME 50

「かばん・靴などの回収について」

資源循環の促進を図るため、次の施設で回収を開始します。ご協力をお願いします。

- 回収場所
仮設長岡リサイクルセンター、葦山リサイクルプラザ、大仁清掃センター
- 回収開始日
5月1日(水)から
- 出し方
靴・サンダル/バラバラにならないよう靴紐を縛る、または袋に入れる。汚れを落とす。
かばん・ベルト・帽子/汚れを落とす。
- 注意事項
・汚れがひどいものは、燃えるごみとして出してください。
・今まで通り、金属などを取りはずし、燃えるごみとして出すことも可能です。
・長靴やスニーカーは、リサイクルできません。

廃棄物対策課

☎ 0558(76)8001

広報5月号から、『不用品活用バンク』の掲載を市HPに変更します。



▲市HP